

めざすのは 新しい時代に対応する 行政運営のしくみ

鳥取市行政改革（後期）実施計画決まる



より多くの意見を市の施策に反映させるための市民政策コメント制度

鳥取市は新しい時代に対応可能な行政システムの確立をめざして、平成11年3月、鳥取市行政改革大綱（平成11年度～15年度）を策定し、積極的に取り組んできました。そしてこのたび、その（前期）実施計画期間である2年間が終了。今後さらにこの取り組みを進めるため、市政懇話会などで市民のみなさんの意見を聴きながら、鳥取市行政改革（後期）実施計画を策定しました。今回は、その概要と前期実施計画の実績を紹介します。

大綱の基本的な考え方

最少の経費で最大の住民サービス

単に行政のスリム化を図る視点だけでなく、透明性の向上といった行政手法の見直しや、行政と民間との役割分担など総合的な見直しの実施
職員の意識改革と人材育成の推進

後期実施計画の概要

計画期間



市政モニターのみなさん

平成13年度～15年度
実施項目
51項目のうち、主なものは次のとおりです。

13年度から新規に取り組むもの（6項目）

市政モニター制度の導入
公共事業など投資的経費の対前年比九〇％を基本とした予算編成
市町村合併の取り組み
バランスシートの作成・公表

13年度に調査・検討し、14年度に実施をめざすもの（8項目）

ISO14001の認証取得、環境マネジメント



活発な意見交換が行われた合併フォーラム